

# 輸出事業計画

## ※申請者名：播州乾麺輸出拡大協議会、品目：乾麺

### 1. 輸出における現状と課題

#### 【現状】

- ・国内消費縮小を背景に、日本の麺需要の高まる海外向けに「播州ブランド」を確立し、輸出拡大を行うため、古くからの技術を持つ産地事業者が一体となった協議会を立ち上げて活動
- ・「播州ブランド」の認知拡大のため、多言語化HPやSNS活用等のプロモーション活動や、展示会出展・商談会参加に積極的に取り組む

#### 【課題】

- ・間接輸出による現地ニーズ把握に限界を感じており、将来的に現地バイヤーとの商談を通じた直接輸出の構築を目指す
- ・今後ますます厳しくなる食品規制への対応や各国の認証制度、ハラール制度の取得への対応

### 2. 輸出事業計画の取組内容

- ・多言語化HPやSNS活用、展示会への出展等によるプロモーション活動
- ・多言語化対応のパンフレット等を活用し、展示会出展・商談会へ継続的に参加することによる新規販路開拓
- ・日系商社を通じて協議会メンバーに貿易実務セミナーを実施し、現地のニーズを把握し、海外輸入事業者、ディストリビューター等と連携し、GI制度を意識した商品開発を実施
- ・各国、各地域の輸入規制、制度に対し、日系商社と連携して情報収集を行い、協議会員にて情報共有し、対応を目指す
- ・「播州ブランド」確立に向けたGI制度への登録を目指す
- ・諸外国における様々な認証制度等に対しては、JETROや行政機関からの情報を会員内で共有し、輸出商社とも連携しながら取得を目指す

### 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

#### PLAN

海外輸入業者・ディストリビューターやJETROからの現地情報に基づき、直接輸出を含めた輸出事業計画・設備投資計画を検討

#### ACTION

輸入商社からのフィードバック等を通じて現地消費者の求める商品の製造・改善の着手

#### DO

計画に基づき、国内・海外での商談会・フェア販売等へ参加し、輸出を実施

#### CHECK

輸出の進捗状況について、JETRO・自治体・金融機関・域内連携事業者等の評価・アドバイスを踏まえ、必要に応じて計画を見直し

### 4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

	現状（令和6年度）	目標（令和9年度）
輸出額	5.55億円	8.25億円
主な輸出先	米国・欧州・東南アジア (ベトナム、シンガポール)、 中国等	米国・欧州・東南アジア (ベトナム、シンガポール)、 中国、中東等

・米国向け輸出を主としながら、市場拡大のため欧州向けの拡大、中国向け輸出の復活（増加）を目指す。